



連載 企画 第7回

空き家を考える 空き家対策セミナーに参加して

7月26日に大豊町役場で行われた空き家対策セミナーに参加してきましたので、その状況と、私たちが大豊町で空き家の活動をする際に感じていることも交えてお伝していきたいと思います。

講師は福井県で活動するNPO法人ふるさと福井サポートセンター（以後、ふるさぽ）の北山さんと、中川さんにお越しいただいて「間違いだらけの!? 空き家の常識」というテーマでお話を聞くことができました。

実は当法人で行っている空き家マッチングツアーは、このふるさぽさんの活動を参考にして始まりました。4年前から大豊町と県の空き家対策チームを交えて、ふるさぽさんから色々なノウハウを学ばせていただきました。おかげさまで新たな活動ができています。

家には賞味期限がある

特に住まなくなった家は老朽化の進行が速く、福井県の例でいくと5年、10年と空き家になってしまった家は大幅なリフォーム代がかかり、それが原因で活用ができなくなってしまう、最終的には解体という方法しかなくなるという内容のお話がありました。

まさに大豊町でも同じ状況が起こっています。当時はまだ手放すつもりは無いと言っていた所有者の方々が、数年たってから売りたい、貸したいという相談も最近多くなってきました。しかしこの間に家が老朽化しマッチングが難しい状況が増えています。

ふるさぽの北山さんは、なによりも早期決断が大事だと講演中に度々おっしゃっていました。

空き家理解度チェック

セミナーの中では参加者も一緒に考える場面が多くありました。

空き家のことについて、周りの人がどれくらい理解しているかを体感することができ、チェックシートを使った話では、左記のような質問がありました。

周りに聞いたことがある情報なら「○」を記入（抜粋して記載）

- | | |
|-----------------------------------------|--------------------------|
| 良い部材を使っている家は高く売れる | <input type="checkbox"/> |
| 空き家は最終的に役場や国が引き取ってくれる | <input type="checkbox"/> |
| 困ったら相続放棄したら良い | <input type="checkbox"/> |
| 先祖代々から受け継いで名義なんて変えたことない名義なんて変えなくても家は売れる | <input type="checkbox"/> |
| 放置しても解体費用は役場が全て面倒をみってくれる | <input type="checkbox"/> |

などなど...

空き家相談窓口

セミナー終了後には専門家への無料相談窓口が開設され、登記関係で困っている所有者の方と一緒に参加しました。

大豊町では土地の相続登記は済んでいても、建物登記をしていない事例が多く、そもそも初回登記がなかったり相続登記をしていないケースも見受けられます。昔は法的な扱いが緩やかだったためですが、今になって手放したい、補助金で修繕したいときに支障が出ています。

今回の相談者の一人はアドバイスを実行し、無事に解決できたと喜んで報告してくれました。私たちも活動の意義を感じる瞬間でした。

空き家の相談は「元気おおとよ」でいつでも受け付けています。まずはお気軽にご相談ください。

☎070-8490-0228

担当・猪野

せんが
みらい

大豊町に住む前は何をされて
いたんですか？

東京で仕事をしていた頃に
コロナウイルスが流行り、リ
モートワークをするようにな
って「東京でなくても仕事は
できるんじゃないか？」と考
えるようになりました。

大豊町に住んでからも、東京でやっていた仕事は在宅で行っています。配送業者の方などに「この人平日も家にいるけど何してるんだろう?」と思われていそうですが、ちゃんと働いています。笑

大豊町へ来たきっかけを教えてください！

大豊町を知ったきっかけは
グーグル・マップなんです。
実は海が大好きで趣味はシュ
ノーケリング。なので最初は
高知でも海が近い黒潮町や四
万十市あたりで住居を探して
いました。

家も決まりかけていたんですが、その直前に能登地震があり、海の近くは家族が心配し始め、あらためて高知県をグーグル・マップで眺めていたら、高知道に大豊ICを見つけた、実家の大阪や高知市からも近いんじゃない？と、どんなところだろうと興味がわきました。それからはずごく早くてトントンと家も決まり移住しました。



移住してから、何か始めたことはありますか？

大豊町へ来るまで車の運転をほとんどしてこなかったんです。ペーパードライバーのゴールド免許みたいな感じで。高知へ来ても半年ぐらいは車の運転が苦痛でした。それが半年たったら不思議と慣れてきて、今ではすっかりドライブが趣味です。

あと、大豊町へ来るまで肉体的労働をしたことが無かったんです。最近では、東京でやっていた在宅の仕事以外にも、宿泊施設のスタッフや空き家の片付け、建築現場での手伝いにドローン国家資格の補助業務など、いろんなお仕事をしています。

大豊町に暮らしてみても、何か
楽しみは見つけましたか？

大豊町は四季の変化が多くて、1年住んで季節ごとの楽しみ方がわかってきたなと思います。特に、春夏は自宅の庭の草が伸びまくり、草刈りなどの雑用が多いことがわかりました。これまで冬が苦手だったんですが、虫はいないし草も伸びないし、ゆっくり過ごせていいと思うようになりました。

雨の日も憂鬱になりがちだったんですが、吉野川や山々にかかる霧の景色がとても綺麗で、雨も悪くないなと思うようになりました。あと、高知へ来て異次元の力ツオのおいしさを知りました！今まで力ツオってそこまで好きじゃなかったんです。でも、高知へ来て力ツオを食べた瞬間、今まで食べてきた力ツオは何だったのかと衝撃を受けました！例えて言うなら「蟹と力ニカマくらい」違いますね。

今後、大豊町でやりたいこと
とがありますか？

大豊町がアクセスのいい田舎であることをみんなに知ってほしいです！高知市からも気軽に遊びに来れますし。

それと、大豊町の人からよく「なんもない場所でしょ？」

と聞かれますが、都会から来ると、大豊町って自然が豊かですごくいい場所だと感じます。町民の方も大豊町が素晴らしい場所ということを誇りに思っています！

大豊町には希少性があるし、
もっと大豊町の良さを伝えて
移住者やリターン者を増やし
ていきたいですね。

インタビュー・岩本

 ゆとりすとパークおおとよ

高知市・鏡川河川敷周辺

〒789-0250
大豊町黒石363-5(大田口テラス1階)